第７号様式（第５条関係）

議会事務局 受付 8.4.22 No 浜松市

令和８年４月２２日

浜松市議会議長　髙林　修　様

浜松市議会

会　派　名　　浜松市政向上委員会

報告者

代表者氏名　　代表　鈴木　恵[redacted]

政務活動費収支報告書

浜松市議会政務活動費の交付に関する条例第９条の規定により別紙のとおり令和７年度政務活動費の収支報告をいたします。

別紙

会派名　浜松市議会　浜松市政向上委員会

令和　7　年度

1　収　　入

政務活動費　　1,801,804 円　　(ただし、預金利息 1,804 円を含む)

2　支　　出

項　目	金　額 (円)	備　考
調査研究費	15,260	公文書複写費、旅費、会費
研修費	132,282	旅費、受講料・研修等参加費
広報費	0	
広聴費	34,156	旅費
要請・陳情活動費	6,345	旅費
会議費	1,262	旅費
資料作成費	0	
資料購入費	50,841	書籍代、新聞代
人件費	183,456	給与、労働保険料、郵送料
事務所費	384,497	事務用品費、パソコン代・処分代、インターネット通信料、ルーター代、コピー代、セキュリティソフト代、FAX複合機処分代・購入費
合計	808,099	

注　備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3　残　　額　　993,705 円

別紙

会派名　浜松市議会　浜松市政向上委員会

令和　7　年度（後期）

1　収　　入

政務活動費　1,320,243 円　（ただし、預金利息 1,804 円を含む）

（内訳）

政務活動費（前期からの繰越分）　419,288 円　（ただし、預金利息　849 円を含む）

政務活動費（後期分）　900,955 円　（ただし、預金利息　955 円を含む）

2　支　　出

項　目	金　額（円）	備　考
調査研究費	7,617	公文書複写費、旅費、会費
研修費	40,632	旅費、研修等参加費
広報費	0	
広聴費	16,694	旅費
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	29,832	書籍代、新聞代
人件費	92,810	給与、郵送料
事務所費	138,953	事務用品費、インターネット通信料、コピー代、PC処分代、FAX複合機処分代・購入費
合計	326,538	

注　備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3　残　　額　993,705 円

別紙

会派名　浜松市議会　浜松市政向上委員会

令和　7　年度（前期）

1　収　　入

政務活動費　　900,849 円　（ただし、預金利息　849 円を含む）

2　支　　出

項　目	金　額（円）	備　考
調査研究費	7,643	旅費
研修費	91,650	旅費、受講料・講座参加費
広報費		
広聴費	17,462	旅費
要請・陳情活動費	6,345	旅費
会議費	1,262	旅費
資料作成費		
資料購入費	21,009	書籍代、新聞代等
人件費	90,646	給与、労働保険料
事務所費	245,544	事務用品費、パソコン代、インターネット通信料、ルーター代、コピー代、セキュリティソフト代
合計	481,561	

注　備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3　残　　額　　419,288 円

決算利息のお知らせ

浜松市政向上委員会
令和 7年10月15日

お名前

鈴木　恵　　様

科目
口座番号 [redacted]
計算期間　令和 7年 3月 9日から
　　令和 7年 9月13日まで

決算前残高	10,304 円
決算預金利息	21 円
利子税	4 円
(内国税	3 円)
(内地方税	1 円)
差引支払利息	17 円
決算後残高	10,321 円

浜 松 い わ た 信用金庫 [redacted]

LPA4

浜松市政向上委員会

決算利息のお知らせ

令和 8年 4月 8日

お名前

鈴木　恵　　様

科目
口座番号 [redacted]
計算期間　令和 7年 9月14日から
　　令和 8年 3月14日まで

決算前残高	5,688 円
決算預金利息	16 円
利子税	2 円
(内国税	2 円)
(内地方税	0 円)
差引支払利息	14 円
決算後残高	5,702 円

[redacted]
浜 松 い わ た 信用金庫
[redacted]

LPA4

普通預金利息決算のお知らせ

浜松市政向上委員会
代表　鈴木　恵　様

8年　3月　15日

いつもお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、本日貴方様の口座の決算を致しましたところ、預金利息が右のとおりとなりましたのでお知らせ申し上げます。
今後とも一層ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

ご連絡欄

口座番号	[redacted]
計算期間	7年　9月　14日より 8年　3月　14日まで
預金利息	1,179円
税金	238円
国税	180円
地方税	58円

個人情報保護のため、番号の一部を非表示にしています。

浜松いわた信用金庫
[redacted]
電話　053-454-6141

[redacted]

普通預金利息決算のお知らせ

浜松市政向上委員会
代表　鈴木　恵　様

7年　9月　14日

いつもお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、本日貴方様の口座の決算を致しましたところ、預金利息が右のとおりとなりましたのでお知らせ申し上げます。
今後とも一層ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

ご連絡欄

口座番号	[redacted]
計算期間	7年　3月　9日より 7年　9月　13日まで
預金利息	1,043円
税金	211円
国税	159円
地方税	52円

個人情報保護のため、番号の一部を非表示にしています。

浜松いわた信用金庫
[redacted]
電話　053-454-6141

[redacted]

調査研究費

（単位：円）

日 付	摘　　要	支払金額	金 額
R7. 5. 7	市内等旅費	985	985
R7. 6. 4	市内等旅費	1, 218	2, 203
R7. 7. 2	市内等旅費	2, 109	4, 312
R7. 8. 6	市内等旅費	2, 961	7, 273
R7. 10. 8	市内等旅費	370	7, 643
R7. 10. 23	公文書複写費	1, 380	9, 023
R7. 12. 3	市内等旅費	222	9, 245
R8. 1. 8	市内等旅費	755	10, 000
R8. 1. 21	会費	5, 038	15, 038
R8. 4. 1	市内等旅費	222	15, 260
			15, 260
			15, 260

No B 438675

No 1

領収書

納入者	浜松市政向上委員会 様								
金額				¥	1	3	8	0	円

ただし、公文書検索 10円×138枚

令和7年10月23日 領収済

浜松市出納員 所属 氏名 文書行政課 事務職員 [redacted]

取扱者 氏名 飯尾光代

（様式７）

支　払　証　明　書

		百	拾	万	千	百	拾	円
金　額				¥	5	0	3	8

但し　　会費　　として

内訳　　会費（１年間）　　２０，０００円
　　手数料　　１５２円
　　計　　２０，１５２円

１か月あたり　２０，１５２円÷１２＝１６７９．３３３・・・円
１月～３月分　５，０３８円（４月～１２月分　１５，１１４円）

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和８年１月２１日

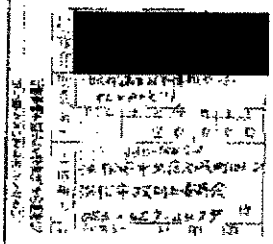
会　派　名　　浜松市政向上委員会
代　表　者　　鈴木　恵　[redacted]

（様式７）

〈別紙　領収書添付欄　１〉

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
08-01-2		
取扱店	ハママツヒクマ	
払込口座		
払込金額	＊20,000	料金 ＊152



振替受付票

払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。
料金には、消費税等が含まれています。
（ゆうちょ銀行）

入金額　＊20,152
おつり　＊0

ゆうちょでＮＩＳＡ始めませんか？
詳しくはお近くの窓口へ！

印紙税申告納付につき細則税務署承認済

利用会員の皆様へ

いつもお世話になります。2025年は大阪府吹田市で8月に第17回全国研究集会を開催し、オンラインを含め150名の参加をいただきました。また、オンラインも組み合わせた年３回の地方×国研究会が無事実施できました。

2026年の新しい年を迎え、団体としては地方議会、地方自治体をベースに活動する皆さんの支援と資質向上となる活動を引き続き行っていきたいと考えています。さらにMLや研究集会で活発な情報交換と議論の蓄積を行い、より質の高い活動につなげていければと思います。

2026年度は例年の年1回の全国研究集会（岡山で実施予定）。年3回の地方×国政策研究会に加え、企業会計についてのオンライン勉強会も追加で実施予定です。

どうぞ今年もよろしくお願いいたします。

■会費納入のお願い

2026年度は1月よりスタートとなります。

2万円（町村議員、小規模自治体議会＜５万人以下＞議員、市民は5000円）の年度会費納入をぜひともよろしくお願いします。

◎会費は
郵便振替口座 01380-1-101981 「自治体議員政策情報センター・虹とみどり」
郵貯銀行の口座
店番号 一三九(イチサンキュウ)
口座番号 (振替口座と同じ) 預金種目 当座 0101981
「自治体議員政策情報センター・虹とみどり」

までよろしくお願いします。

■1月29日 利用会員集会、第50回地方×国政策研究会

別紙にありますように 地方×国政策研究会を1月29日(木) 10時より衆議院第二議員会館第2会議室で開催します。12時半～12時50分には利用会員集会を実施します。ぜひ参加ください。

研修費

（単位：円）

日 付	摘　　要	支払金額	金 額
R7. 4. 1	受講料	30,550	30,550
R7. 5. 7	旅費（東京）	33,620	64,170
R7. 5. 29	旅費（東京）	17,320	81,490
R7. 5. 19	講座参加費	4,000	85,490
R7. 8. 27	旅費（静岡）	6,160	91,650
R7. 10. 15	参加費	15,000	108,970
R7. 11. 19	旅費（東京）	17,320	123,970
R8. 1. 21	旅費（静岡）	6,160	130,130
R8. 1. 21	研究会参加費	2,152	132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
			132,282
	合　　計		132,282

令和7年度　浜松市政向上委員会

（様式８）

令和　７年　４月　９日

会派名　浜松市政向上委員会
代表者　　鈴木　恵　　様

会派名　　浜松市政向上委員会
氏　名　　鈴木恵　[redacted]

出　張　届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

１　出張者

鈴木 恵

２　期間及び出張先

令和７年４月21日（月）～22日（火）

東京都新宿区　電設年金会館

３　目的

自治体政策講座「社会の変容と目前の課題～自治体の役割を考える」を受講する。日本の貧困の現状と政策、新たなパンデミック危機に備える～コロナ禍で分かった地域医療の現状と課題、老いを迎える住まい支援とまちづくりなどがテーマ。新しい課題に対しての現状と今後に向けて学び、浜松市政に生かしていく。

視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長 様

会 派 名
代表者氏名　　㊞

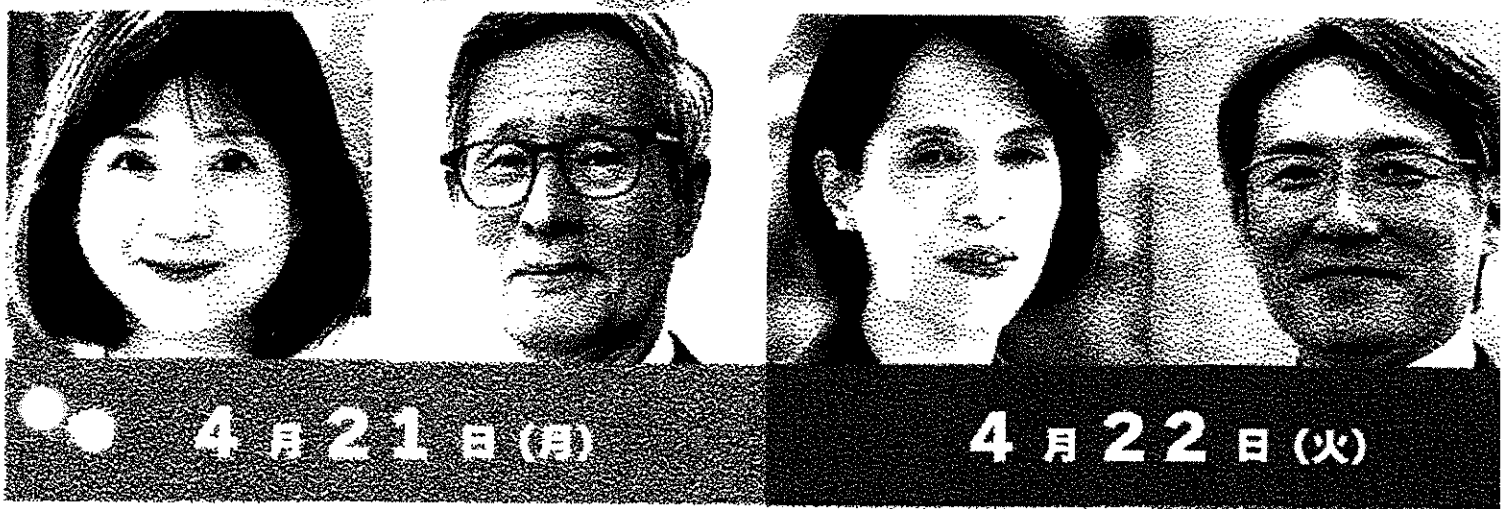
上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

社会の変容と目前の課題

2025年 ―自治体の役割を考える 第２５期自治政策講座in東京

4月21日(月)・22日(火) 電設年金会館（東京都新宿区大久保） × オンライン（ZOOM）

自治体議会政策学会 Councillors' Organization for Policy Argument



第1講義 13:00～14:30
日本の貧困の現状と政策
阿部　彩
東京都立大学人文社会学部 教授

第2講義 14:50～16:20
新たなパンデミック危機に備える
―コロナ禍で分かった地域医療の現状と課題
尾身　茂
公益財団法人 結核予防会 理事長

第3講義 10:00～11:30
老いを迎える住まい支援とまちづくり
井上　由起子
日本社会事業大学専門職大学院 教授

第4講義
SNS時代の選挙と民主主義
山田　健太

▼大変な時代になりました。新たなAIなど先進技術の社会実装は生活の質までも変化させ、世界の政治動向や民意は、これまでの延長線上にないことが戦争や選挙などで示されています。日本は人口減少時代、社会の変容に見合う政策選択が問われています。▼今回の講座では「貧困」「パンデミック」「高齢化」「SNS時代」という４つの課題に新しい第一人者の先生を迎え、自治体の役割を考えます。

受　講　料：２日間　30,000円　　１日のみ　20,000円

参 加 方 法：電設年金会館（東京都新宿区大久保）**・オンライン**（ZOOM）

お申込方法：下記申込書またはQRコードからお申込みください。

◎お申込み後に受講確認票をお送りします。◎記載に従って、お申込み内容のご確認と受講料のお振り込みをお願いいたします。

お申込み用紙　　**FAX:03－5227－1828**　　**第２５期自治政策講座in東京**

▼氏名（フリガナ）	▼E-mail	
	▼電話	▼FAX
▼住所　〒　　－		▼所属（議会・団体名）

申込日の参加方法に✓を入れてください							
	全日程参加	◇4月21日（月）～22日（火）		1日のみ参加	◇4月21日（月）	□会場	□ZOOM
	30,000円	□会場	□ZOOM	20,000円	◇4月22日（火）	□会場	□ZOOM

本講座を何で知りましたか？ □DMチラシ □DMメール □COPA NEWS □会派の案内 □議会事務局の掲示等 □知人・議会等の紹介 □雑誌広告 □SNS □その他（　　）

備考

主催：自治体議会政策学会　　お問い合わせ　TEL　03-5227-1827　E-mail　copa@copa-web.net　（担当：[redacted]）

4月21日(月)



阿部　彩

東京都立大学人文社会学部
人間社会学科 教授

国立社会保障・人口問題研究所や海外経済協力基金などを経て2015年より現職。

日本で初めての貧困に特化した研究所「東京都立大学子ども・若者貧困研究センター」研究所長。

著書に『子どもの貧困―日本の不公平を考える―』(岩波新書)、『弱者の居場所がない社会―貧困・格差と社会的包摂』(講談社現代新書)などがある。

第1講義
13:00～14:30

日本の貧困の現状と政策

2013年「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が成立し、これに基づき「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定されたのが2014年です。貧困の子どもが抱える諸問題は多岐にわたり、「貧困の連鎖」を食い止める具体的政策、貧困に関する問題意識の醸成は10年以上経ても十分ではありません。

先進的、総合的に貧困問題を研究されてきた講師から、近年注目される高齢女性の貧困問題も含め、日本社会の貧困と自治体の課題について伺います。

第2講義
14:50～16:20

新たなパンデミック危機に備える

―コロナ禍で分かった地域医療の現状と課題解決

新たなパンデミックに備えはできているのだろうか。5年前に経験した未知の病原への不安や医療機関・自治体の人手不足による医療提供の遅滞。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、わずか数ヶ月で世界的パンデミックになり、外出や集会も規制されました。

当時、政府対応へ提言を続けていた専門家チームの中心にいた講師から、公衆衛生や感染症対策について世界的な最前線で闘ってきた経験も含め、これからの地域医療の課題を伺います。



尾身　茂

公益財団法人
結核予防会 理事長

自治医科大学卒業後、地域医療に従事。1990年から世界保健機関(WHO)に勤務。1999年に同事務局長就任。重症急性呼吸器症候群(SARS)対策など指揮。2014年地域医療機能推進機構理事長、2016年に国際健康危機タスクフォースのメンバーに就任。

2020年新型コロナウイルス感染症対策専門家会議　　、新型コロナウイルス感染症対策分科会会長、2022年より現職。

著書に「100日間の葛藤：新型コロナ・パンデミック専門家たちの記録」(日経BP)他。

4月22日(火)



井上 由起子

日本社会事業大学
専門職大学院 教授

1990年、日本女子大学卒業。厚生労働省、横浜国立大学工学研究科修了。博士(工学)。国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究領域上席主任研究官を経て、2012年日本社会事業大学専門職大学院教授。2013年現職。

国土交通省社会資本整備審議会住宅宅地分科会臨時委員、厚生労働省社会保障審議会介護保険部会介護保険制度改正検証・研究委員会委員。一級建築士、社会福祉士、宅地建物取引士。

著書に「いえとまちのなかで老い暮える」(中央法規)など。

第3講義
10:00～11:30

老いを迎える住まい支援とまちづくり

2024年秋に住宅セーフティネット法が改正され、自治体は単身高齢者をはじめとする住宅確保要配慮者の居住支援に取り組み始めています。身元保証、死後事務、生活支援等の新しいサービスも登場しています。

高齢者がWell-beingに地域で暮らし続け、介護が必要になっても社会と接点を保ち続けられるようなまちづくりとはどのようなものか。福祉と住宅がクロスする領域を専門とする講師から、国や自治体の支援のあり方や役割について伺います。

第4講義
13:00～14:30

ＳＮＳ時代の選挙と民主主義

―政治と生活と選挙権―

[illegible]の発展でより情報が[illegible]
[illegible]が[illegible]
社会的影響は、[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

（様式７）

支　払　証　明　書

		百	拾	万	千	百	拾	円
金　額			¥	3	0	5	5	0

但し　　受講料として

内訳　　自治政策講座受講料　　３０，０００円
　　振込手数料　　５５０円

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

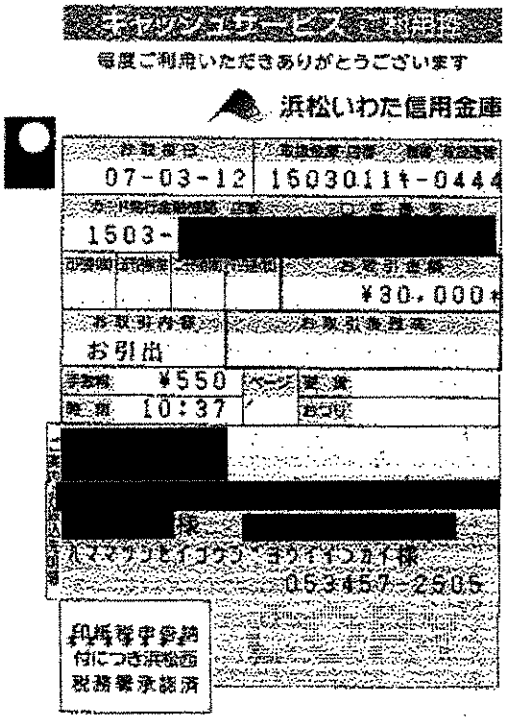
令和７年４月１日

会　派　名　　浜松市政向上委員会
代　表　者　　鈴木　恵 [redacted]

（署名又は記名押印をしてください。）

（様式７）

〈別紙　領収書添付欄　１〉



（様式 10）

令和７年　５月　１日提出	
（あて先）　会派名　浜松市政向上委員会 代表者　鈴木　恵	
報　告　書	
出張年月日	令和７年４月 21 日（月）～22 日（土）
出　張　先	東京都新宿区　電設年金会館
出張の理由	自治体政策講座「社会の変容と目前の課題～自治体の役割を考える」を受講する。日本の貧困の現状と政策、新たなパンデミック危機に備える～コロナ禍で分かった地域医療の現状と課題、老いを迎える住まい支援とまちづくりなどがテーマ。新しい課題に対しての現状と今後に向けて学び、浜松市政に生かしていく。
出　張　者 氏　名　印	鈴木 恵 [redacted]
（出張の顛末） 別紙参照	
（備考）	

第25期自治政策講座 in 東京
「社会の変容と目前の課題～自治体の役割を考える」報告

2025 年 4 月 21 日、22 日
浜松市政向上委員会

第25期自治政策講座 in 東京（東京都新宿区）に参加した。

1、日本の貧困の現状と政策
　阿部　彩（東京都立大学人文社会学部人間社会学科 教授）

＜概要＞

2013 年「子どもの貧困対策を推進する法」が成立し、これに基づき「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定されたのが 2014 年。貧困の子どもが抱える諸問題は多岐にわたり、「貧困の連鎖」を食い止める具体的政策、貧困に関する問題意識の醸成は 10 年以上経ても十分ではない。必要な層に届いていないことが問題。

今後、大きな問題になってくるのが、大人の女性の貧困問題。未婚の中高年の貧困率が上昇している。住宅の修繕費が払えないなどの問題が出てくるだろう。対策としては、お金がなくても豊かな暮らしができるようなまちづくりをする。例えば、子ども食堂を高齢者も使えるようにするなど。

＜所感＞

豊富なデータをもとにした説明は大変わかりやすかった。全国のデータで見ると子どもの貧困は減少状況で、一方高齢女性の貧困状態は増えているとのこと。ここへの認識、支援って、まだ不十分だ。まずは浜松の状態を調べてみたい。



講義をする阿部彩さん

2、新たなパンデミック危機に備える～コロナ禍で分かった地域医療の現状と課題
尾身　茂（公益財団法人 結核予防会 理事長）

＜概要＞

5年前に経験した未知の病原への不安や医療機関・自治体の人手不足による医療提供の遅滞。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、わずか数ヶ月で世界的パンデミックになり、外出や集合も規制された。

当時、政府対応へ提言を続けていた専門家チームの中心にいた尾身さんから、公衆衛生や感染症対策について世界的な最前線で闘ってきた経験も含め、これからの地域医療の課題を伺った。

クルーズ船で感染が蔓延していて、政府はその対応に追われていたが、専門家はすでに市中に広がっていると認識していた。新型コロナウイルスは、潜伏期間でも無症状でも、感染させてしまうことがわかっていたからだ。パンデミックの対応としては、封じ込め（ロックダウン）、感染抑制、被害抑制があり、日本は感染抑制をとった。

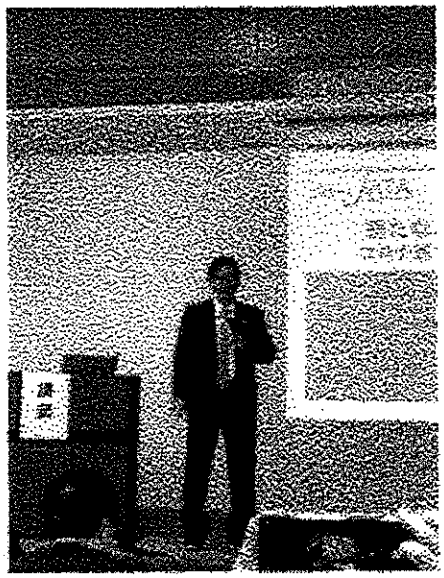
発生直後は、準備不足があったが、保健医療機関などの献身的な努力、一般市民の協力、繰り返し行ったハンマー＆ダンスで、諸外国に比べて人口10万人あたりの死亡者数は低かった。しかし、人々の生活や社会経済活動、教育に負担がかかってしまった。

課題としては、政府と専門家の役割分担が不明確だったこと、多くの病院が高齢者介護や生活支援に力点がおかれ、医師や看護師が少ない。公的医療機関より民間が多い、全身疾患をみられる医師が少ないなどの現状があり、医療が逼迫してしまったこと。デジタル化の遅れにより、保健所や医療機関の負担が増えていたことなどがあげられる。

＜所感＞

コロナ禍の時は毎日のようにテレビで見ないことはなかった尾身　茂さんから、コロナ禍の裏で起きていたことなどの話のほか、コロナ禍の総括を国も自治体もしっかりすべきという話を伺った。新たなパンデミックに備えはできているのだろうか。

いつコロナのような感染症が出てくるかわからない。そのためにはしっかり総括する必要ある。浜松においても保健所機能、人材育成、go to キャンペーンなどの経済対策など、検証していきたい。



3、老いを迎える住まい支援とまちづくり

井上由起子（日本社会事業大学専門職大学院　教授　）

＜概要＞

これまで日本では、住宅は社会保障として扱われてこなかった。2024 年秋に住宅セーフティネット法が改正され、自治体は単身高齢者をはじめとする住宅確保要配慮者の居住支援に取り組み始めている。一方、高齢者の単身化が進んできていて、これまで家族が担っていたが、居住支援が必要となっている。

高齢者の賃貸借契約で問題になるのは、死亡時の対応（相続人が見つからない、緊急連絡先がない、コストがかかる）、保証人いないなど。また、住まいだけで困っている人はいない。

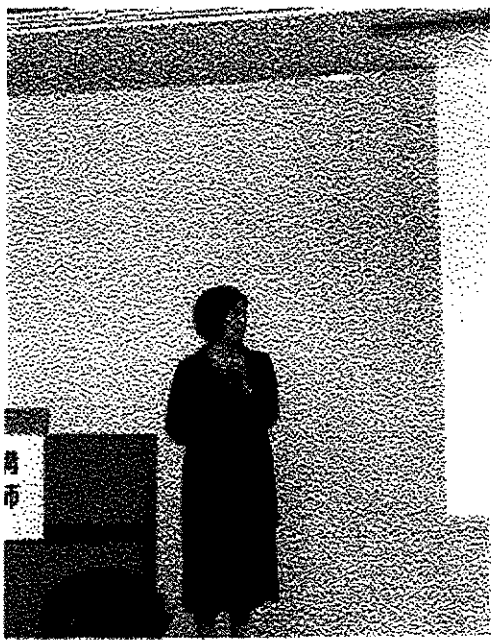
居住支援協議会、居住支援法人の活用をどうしていくか。

空家対策、住宅政策、高齢者支援など分野を超えて、考えていく必要がある。

＜所感＞

高齢者の居住支援について、住宅政策と福祉政策それぞれの視点における論点を説明していただいた。高齢者が民間アパートに入居するにはハードルがある。

仕組みづくりはできつつようだが、現場に落ちていない。貧困に陥りやすい高齢女性の住まいについて、さらに突っ込んで調査していきたい。



4、SNS 時代の選挙と民主主義～政治活動と受発信～

山田健太（専修大学ジャーナリズム学科）

＜概要＞

SNS の普及でより情報発信が手軽になるにつれ、これまでになかった社会的影響が出てきていて、それは、最近の選挙報道や選挙時の SNS でも明らかになった。ネット空間には多くの偽・誤情報が出回るが、マスコミ報道は数量平等ルールに縛られていて、それに対応できていない。ネット（YouTube、切り取り動画）＝選挙活動、テレビ、新聞、雑誌（報道機関）＝選挙報道。選挙活動の情報のみの投票でいいのか。

一方、有権者は、マスコミ報道に信頼しておらず、ネット情報を信じている。テレビは選挙で儲からないが、ネットは選挙で儲かる。果たして、これでいいのか。

先生の問題提起がなされた。

＜所感＞

タイトルだけ見ると、候補者が選挙活動で SNS をどう使うかについてと思われるが、そうではなく、選挙における既存の報道とネット空間のありよう、そして、SNS 時代の民主主義のありようが内容であった。新しいツール SNS を使うのか。それは有権者特に弱者の視点を重視した選挙報道が必要とはそのとおりだ。浜松市においても、ま

っとうな民主主義を進めていくためには、批判力や見極める力をつける情報リテラシー教育や、誰にでも優しいデジタル化を進めることが必要だ。
す。



＜総括＞
今回「貧困」「パンデミック」「高齢化」「SNS 時代」という4つの課題について、第一人者から講義を受けた。どの講座も人の命や尊厳に関わることで、今後浜松でもしっかり取り組んでいかなくてはならないものだ。

（様式６）

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和７年４月２１日～２２日
出張先（目的）	東京都新宿区　電設年金会館

出張者氏名	鈴木　恵			

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	１５，８２０円	詳細は下記および別紙添付
日当	３，０００円	@１，５００円×１人×２日
宿泊費	１４，８００円	@１４，８００円×１人×１泊
合計	３３，６２０円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
			￥	3	3	6	2	0

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和７年５月７日

会派名　浜松市政向上委員会

代表者　鈴木　恵[redacted]

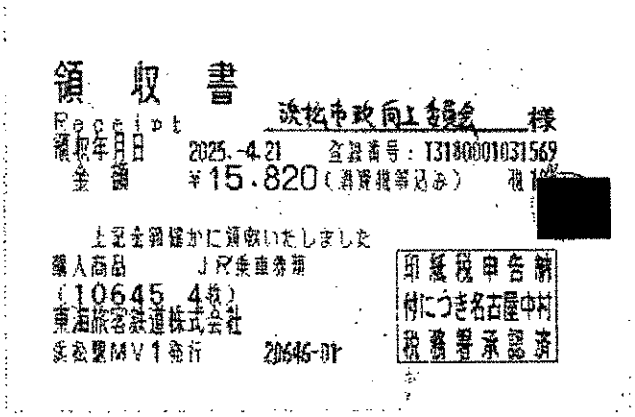
（署名又は記名押印をしてください。）

〈詳細〉

JR新幹線　浜松駅～東京駅（７，９１０円×２）×１人＝１５，８２０円

（様式６）

〈別紙　領収書添付欄　１〉



領　収　書

Receipt　　浜松市政向上委員会　様

領収年月日　2025.-4.21　　登録番号：T3180001031569

金　額　￥15,820（消費税等込み）　　但し[redacted]

上記金額確かに領収いたしました

購入商品　　ＪＲ乗車券類

（10645　4枚）

東海旅客鉄道株式会社

発売箇所ＭＶ１発行　　20646-01r

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

（様式８）

令和　７年　５月　７日

会派名　浜松市政向上委員会
代表者　　鈴木　恵　　様

会派名　　浜松市政向上委員会
氏　名　　鈴木恵 [redacted]

出　張　届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

１　出張者

鈴木 恵

２　期間及び出張先

令和７年５月 19 日（月）

東京都 参議院会館

３　目的

全国フェミニスト議員連盟主催の「女性議員パワーアップ集中講座」に参加し、学校における性暴力防止への課題について、学校での性暴力の実態その対策について学び、浜松市に生かしていきたい。。また、CEDAW 勧告を生かしてジェンダー施策を進めるについて、勧告の内容について知り、どう浜松市政に生かしていくか学ぶ。

視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長 様

会 派 名
代表者氏名　　㊞

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

全国フェミニスト議員連盟イベント
2日間連続開催

第2弾!

女性議員
パワーアップ集中講座

5/19（月）

オンライン参加可！

お申込はこちらから！

10:00～15:00

会場：参議院議員会館B104

申込URL：https://femi-powerup20250519.peatix.com

※申し込み期限：5月17日（土）10:00まで（会場は定員に達した時点）

I. 10:00–12:00

学校における性暴力防止への課題

1. 「学校教員による性暴力の実態とその防止」
   石田郁子さん（写真家、子どもへの性暴力防止を目指す、Be Brave Japan代表）
2. 文部科学省へ対策と実態に関する報告及び説明を依頼予定
3. 「支援に携わった立場から」 徳永恭子さん、渡部ふとりさん
   （スクールセクシャルハラスメント防止関東ネットワーク）

II. 13:00–15:00

CEDAW勧告を活かしてジェンダー施策を進める

講師：浅倉むつ子さん（女性差別撤廃条約実現アクション共同代表）
内閣府男女共同参画局（予定）

2024年10月に発表された国連女性差別撤廃委員会（CEDAW）による
日本報告審査総括所見　勧告の内容を知り改善のために何ができるか学び合う

参加費：

会員	議員3000円（但し町村議員は2000円）	市民1000円
非会員	議員4000円（但し町村議員は3000円）	市民1500円

主催：全国フェミニスト議員連盟　お問い合わせ：info@femi-net.com

（様式 10）

令和７年　５月　20 日提出	
（あて先）　会派名　浜松市政向上委員会 代表者　鈴木　恵	
報　告　書	
出張年月日	令和７年５月 19 日（月）
出　張　先	東京都　参議院会館
出張の理由	全国フェミニスト議員連盟主催の「女性議員パワーアップ集中講座」に参加し、学校における性暴力防止への課題について、学校での性暴力の実態その対策について学び、浜松市に生かしていきたい。また、CEDAW 勧告を生かしてジェンダー施策を進めるについて、勧告の内容について知り、どう浜松市政に生かしていくか学ぶ。
出　張　者 氏　名　印	鈴木 恵 [redacted]
（出張の顛末） 別紙参照	
（備考）	

全国フェミニスト議員連盟パワーアップ集中講座報告

浜松市政向上委員会　鈴木恵

2025 年 5 月 19 日、参議院会館で開かれた全国フェミニスト議員連盟パワーアップ集中講座に参加した。



午前の部では、「学校における性暴力防止への課題」について、Be Brave Japan の石田郁子さんと、スクール・セクシュアルハラスメント防止関東ネットワークの徳永さんと渡部さんから、現場からの報告があった。

＜Be Brave Japan の石田郁子さんから＞
処分を受けていない事件の被害アンケートでは学校内で起きているのが多い。

教員から児童生徒への性暴力の特徴は、1教員の信頼と子どもの脆弱性を利用した暴力であること、2教員一人が複数の児童生徒を指導する権力関係と閉鎖的な環境があること、3地域コミュニティを破壊する暴力であること、4教員だけでなく、学校や教育委員会という「組織」と交渉をする困難があることがあげられる。

「教員性暴力防止法」は 2022 年 4 月から施行されていて、3 年後の見直しの時期になっている。

教育委員会の本来の役割が形骸化している。教育委員が非常勤で、事務局のあげた議題を追認する形で、市民の視点が生かされていない。私立学校で問題が発生した場合、監督機関がないに等しい。
子どもの安全管理に特化した、相談・調査を担う第三者機関を作るべき。

＜スクール・セクシュアルハラスメント防止関東ネットワークの徳永さんと渡部さんから＞
2004 年から NPO 法人として、メール相談、電話相談、同行支援、研修会・出前講座の実施をしている。
全国での子どもの性被害は年間 4000 件を超えているけれど、それに関連する法律がいくつかあり、どれが適応されたのか、わからない現状がある。
学校で起きた被害の特徴として
1、被害のことが児童生徒間で噂になる。
2、児童生徒間の事件の場合は対応がより難しい
3、クラスや保護者間、学校で被害をめぐって対立が起こりがちである
4、被害にあった児童生徒は不登校になったり、転校せざるを得なくなったりする
5、加害者当人が加害行為を認めない
6、学校長、教育委員科は加害教員本人をかばう傾向がある
7、加害教員は転任、一時的に休むなどで鎮静化を図る傾向がある
8、被害児童はケアされず、事件がなかったことにされがちである

最近は SNS に起因する事件、デジタル性暴力が増加。その背景に子どもを手なずける行為＝グルーミングがある。
性暴力を防止するためには「包括的性教育」が必須。
地域でできる子どもへの性暴力防止の対策
1教育委員会の性暴力防止のための取り組みの実態調査
2教育委員会、管理職、校内の研修の実施
3教育委員会の対応マニュアルの存在と内容の点検
4子どもの被害を診察、治療してくれる産婦人科、心療内科の掘り起こしと連携

その後、文科省の担当者が事前の質問に対して、回答をした。

＜早稲田大学名誉教授の浅倉むつ子さんから＞
午後は、「CEDAW 勧告を活かしてジェンダー施策を進める」について、女性差別撤廃条約実現アクション共同代表の浅倉むつ子さんからの説明。



昨年、日本政府は女性差別撤廃委員会から、勧告を受けている。その内容や裏側について、早稲田大学名誉教授の浅倉むつ子さんから説明を受けた。
特に4つのフォローアップ、選択的夫婦別姓の導入、暫定的特別措置として女性立候補時の300万円の供託金の減額、緊急避妊を含む安価な現代的避妊手段へとアクセス、妊娠中絶における配偶者同意条項の削除は、2年後にはどう対応したか、委員会に報告しなくてはならないが、どう報告していくか注目。
日本は、女性差別撤廃条約には批准しているが、選択議定書には批准していない。現在日本の司法は、条約は直接適用可能性がない立場をとっている。個人通報の入り口は狭いが、個人通報によって国内の判決が国際人権委員会の審査を受ける可能性が生まれることの影響は大きく、裁判官は国際条約のレベルを十分に考慮した判決を下すことになり、日本の司法は変わらざるを得ない。
全国の自治体議会から意見者が出ている。
その後内閣府、外務省の方が質問の回答があったが、はっきりしない答弁だった。

＜所感＞
それぞれ学ぶところの多い講座でした。
いじめの対応でも感じたが、学校が関係する性被害は教育委員会が対応するのではなく、市長部局に子どもの安全管理に特化した、相談・調査を担う第三者機関をつくるのがいいのではないかと思った。浜松市では現在子どもの権利に関する条例を制定しているところなので、市長部局への第三者機関設置を要望していきたい。

選択議定書の批准についての意見書を昨年議運に提出したが、成立にならなかった。残念。まだまだ残る女性差別を地域から変えていく努力を進めていきたい。

Be Brave Japan（子どもへの性暴力をなくす当事者団体）/
フォトグラファー

石田　郁子

[redacted]

https://nomoreesm.wixsite.com/home（学校の性暴力）
https://bebravejapan7.wixsite.com/be-brave-japan

（様式６）

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和７年５月１９日
出張先（目的）	東京都　参議院議員会館

出張者氏名	鈴木　恵			

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	１５，８２０円	詳細は下記および別紙添付
日　当	１，５００円	@１，５００円×１人×１日
宿泊費	円	@１４，８００円×１人×　泊
合　計	１７，３２０円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
			￥	１	７	３	２	０

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和７年５月２９日

会　派　名　　浜松市政向上委員会

代　表　者　　鈴木　恵[redacted]

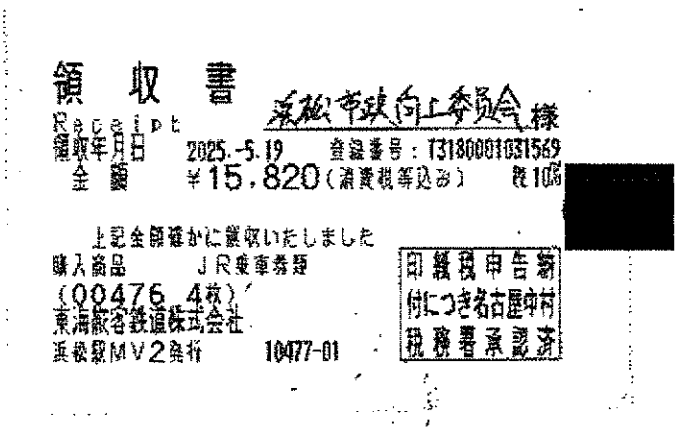
（署名又は記名押印をしてください。）

〈詳細〉

ＪＲ新幹線　浜松駅～東京駅（７，９１０円×２）×１人＝１５，８２０円

（様式６）

<別紙　領収書添付欄　１>



領　収　書

Ｒｅｃｅｉｐｔ

浜松市競泳向上委員会　様

領収年月日　2025.-5.19　登録番号：T3180001031569

金　額　￥15,820（消費税等込み）　数10[redacted]

上記金額確かに領収いたしました

購入商品　ＪＲ乗車券類

（00476　4枚）

東海旅客鉄道株式会社

浜松駅ＭＶ２発行　10477-01

印紙税申告等
付につき名古屋中村
税務署承認済

領収証　　浜松市政倒上委員会　様

￥４０００

但　　女性議員パワーアップ集中講座参加費として

[redacted]

2025年5月19日

[redacted]

東京都小平市小川町 1-869-1-103

全国フェミニスト議員連盟　会計　日向美砂子[redacted]

（様式８）

令和　７年　８月　13日

会派名　浜松市政向上委員会
代表者　　鈴木　恵　　様

会派名　　浜松市政向上委員会
氏　名　　鈴木恵

出　張　届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

１　出張者

鈴木 恵

２　期間及び出張先

令和７年８月 18 日（月）

グランシップ（静岡市）

３　目的

静岡県社会福祉協議会が主催の「医療ケア児・者家族等のつながる推進フォーラム」に参加し、医療ケア児・者、家族の声や各地の実践事例を学ぶことで、浜松市の医療ケア児・者、及び家族支援のあり方を考えていきたい。

視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長 様

会 派 名
代表者氏名　　㊞

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

医療的ケア児・者家族等のつながりづくり推進フォーラム

「知らなかった」から「ともに考える」へ



日時 2025年 **8月18日**（月）
13:30～16:30

会場 **グランシップ 10階** ケアルーム併設
（東静岡駅徒歩3分）静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号

オンライン併用（ハイブリッド形式）

定員 会場 100名＋オンライン配信／録画視聴可

主催：社会福祉法人静岡県社会福祉協議会　共催：静岡県、静岡福祉大学
協力：一般社団法人みらいTALK、SHINE（静岡障害児等防災ネットワーク）、静岡県重症心身障害児（者）を守る会、パクパクの会、ななついろの会、静岡市肢体不自由児保護者家族の会ハナソ、静岡市静岡手をつなぐ育成会、静岡DWAT（静岡県災害派遣福祉チーム）（順不同）

開催目的

医療的ケアが必要な子どもや成人（以下、医ケア児者）とそのご家族は、日常の暮らしの中で多くの不安や孤立感を抱えています。最近の調査では、6割を超える方々が「孤独を感じる」と答え、必要な支援情報にたどり着けずに困難を抱えている現状が浮かび上がりました。しかし、医ケア児者の支援は決して「特別な」ことではありません。私たち一人ひとりが暮らす地域で、共に考え、共に支えるべき大切なテーマです。このフォーラムでは、当事者やご家族の声、地域の実践事例を通じて、「知らなかった」から「ともに考える」へと、一歩を踏み出す場をつくります。

PROGRAM

開会あいさつ

基調講演｜"知らなかった"から"ともに考える"へ ―医療的ケア児者支援の第一歩」
浜松市医療的ケア児等相談支援センター長　大木 茂 氏

実践報告｜当事者とともに進めるまちづくり　飛騨市における医療的ケア児者支援の実践」
岐阜県飛騨市市民福祉部次長兼総合福祉課長　都竹 信也 氏

休憩

パネルディスカッション
コーディネーター：静岡福祉大学 特任教授　山本 雅章 氏

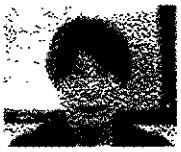
当事者・家族①早川さん　当事者・家族②澁畑さん　当事者・家族③本山さん
支援者（認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク　事務局次長　本田 氏）
市町行政（長泉町福祉保険課　参事　加藤 氏）

PROFILE 登壇者プロフィール



浜松市
医療的ケア児等
相談支援センター長
大木 茂 氏

浜松市医療的ケア児等相談支援センター長として、医療的ケアが必要な子どもやその家族を取り巻く支援体制の構築に尽力。医療・福祉・教育の領域をつなぐコーディネートの実践を重ね、地域における包括的支援のモデルづくりに取り組んできました。現場の声を丁寧にすくい上げる姿勢と制度活用への的確な視点により、多くの自治体や関係機関との協働も積極的に行っています。



岐阜県飛騨市
市民福祉部次長
兼総合福祉課長
都竹 信也 氏

岐阜県飛騨市は、人口約2万人の小規模自治体です。「現場重視・個別対応」を基本に、医療的ケアが必要な方への支援にも力を入れています。地域の支援リソースも限られる中、当事者の自助の意識向上と自助への支援にも意識しつつ、レスパイト、災害時の動き等当事者とともに考えながら、柔軟な発想で政策を立てて対応しています。また、バリアフリートイレの充実や障がい者支援アプリによる情報取得手段の向上など当事者の地域生活の質向上に目を配り取り組んでいます。

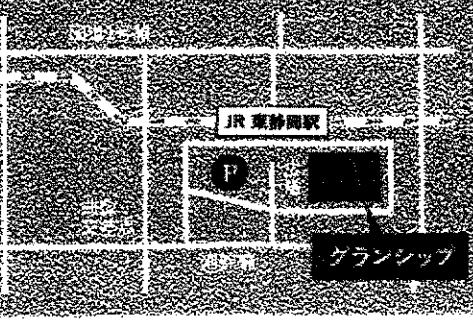


静岡福祉大学
特任教授
山本 雅章 氏

地域福祉の実践と政策研究の両面から、障害児・医療的ケア児支援や包括的支援体制のあり方を探求。自治体職員・支援者への研修や制度設計のアドバイザーも多数務め、福祉と地域をつなぐ実践的な視座を提供し続けています。今回のフォーラムでは、当事者や実践者の声を引き出し、共に考える場づくりのコーディネーターとしてご登壇いただきます。

参加申込み
右のQRコードの専用フォームまたは下記URLよりお申込みください。
https://x.gd/EPNDt

お問合せ
社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会
生活支援課（担当：[redacted]）
TEL：054-275-5237　Email：kyoiku@shizuhaku.or.jp



（様式 10）

令和７年　８月　25 日提出	
（あて先）　会派名　浜松市政向上委員会 代表者　鈴木　恵	
報　告　書	
出張年月日	令和７年８月 18 日（月）
出　張　先	静岡市グランシップ
出張の理由	静岡県社会福祉協議会が主催の「医療ケア児・者家族等のつながる推進フォーラム」に参加し、医療ケア児・者、家族の声や各地の実践事例を学ぶことで、浜松市の医療ケア児・者、及び家族支援のあり方を考えていくため。
出　張　者 氏　名　印	鈴木 恵 [redacted]
（出張の顛末） 別紙参照	
（備考）	

「医療的ケア児・者家族等のつながるづくり推進フォーラム」参加報告

浜松市政向上委員会　鈴木恵

2025 年8月 18 日（月）静岡市グランシップで開催された「医療的ケア児・者家族等のつながるづくり推進フォーラム～"知らなかった"から"ともに考える"へ～」に参加した。主催は、静岡県社会福祉協議会。

基調講演は、浜松市医療的ケア児等相談支援センター長の大木茂氏。小児科医師であり、聖隷三方原病院の NICU の立ち上げに携わり、その後、聖隷浜松病院総合周産期母子医療センターなどを経て、聖隷こども家庭総合支援センター、昨年浜松市医療的ケア児等相談支援センター長に就任。
令和6年度のセンターの相談件数は、関係機関 1195 件、本人・家族からは 358 件。センターは行政、医療、看護、福祉、療育、教育に関係するが、言葉や法律、社会制度、目的などが違い、互いに外国のような状態だ。
2008 年墨東病院事件をきっかけに、増加傾向が続く NICU の長期入院児対策として、小児在宅医療が始まった。

課題として、いかに親子関係を構築していくか、いかに親と子を話していくかがある。また、児童福祉法の一部改正があったが、災害時対策が入っていない。浜松市でも「医療救護計画」に医療的ケア児への具体的な記載なし。障害保健福祉課の医ケア担当者は1名で、数年で異動してしまう。その1名の担当者に医ケア児の防災対策の全てが背負わされているという課題がある。



実践報告として、飛騨市の事例が報告された。飛騨市では、全国初の市直営の児童精神科診療所の設置、学校作業療法室の設置、思春期検診の社会実装をしている。
飛騨市の障がいの定義は「やりたいことがやりたいようにできないこと」
飛騨市の医療的ケア児支援はレスパイト支援で、市がコーディネートチームを作り、医療機関と協議する。
また、障害者支援アプリを作り、「おでかけバリアフリーマップ」も実装。

その後、当事者家族、支援者、行政の参加者でパネルディスカッション。
医療的ケア児者についてのフォーラムは、静岡県としては初めてということだ。まずは当事者や現場の声を聞くことからということで、実際に医療的ケア児を育てている家族の方から切実な声を聞いた。
＜感想＞
これまで、何人かの医療ケア児の保護者の方から相談を受けてきたが、福祉と繋がり方がわからない。積み上げてきたキャリアを犠牲にしなくちゃいけないのは辛い。24時間こどもと関わってきていて自分の時間を持ちたいなど、悲痛の声を聞いてきた。医療的ケア児支援法ができ、少しづつ受け入れができてきた。しかし、まだ保育や学校での支援する看護師が足りない。災害時対策ができていないなど、まだまだ課題は多い。また、今回大木先生が提起してくださった浜松市の課題についても取り組んでいきたい。

（様式６）

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和７年８月１８日
出張先（目的）	グランシップ（静岡市）

出張者氏名	鈴木　恵			

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	4，６６０円	詳細は下記および別紙添付
日　当	１，５００円	@１，５００円×１人×１日
宿泊費	円	@１４，８００円×１人×　泊
合　計	６，１６０円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
				￥	６	１	６	０

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和７年８月２７日

会　派　名　　浜松市政向上委員会

代　表　者　　鈴木　恵[redacted]

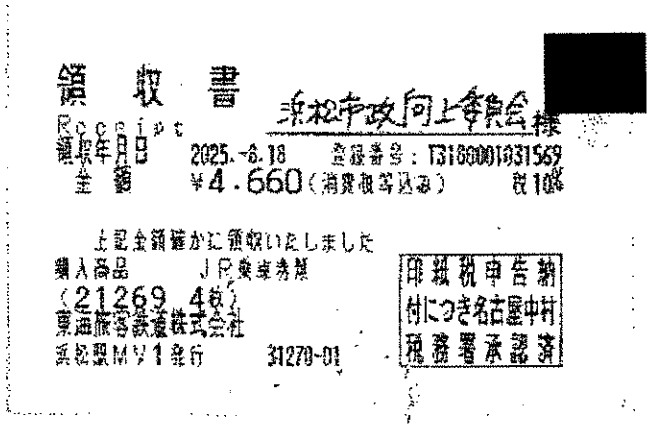
（署名又は記名押印をしてください。）

〈詳細〉

JR新幹線　浜松駅～静岡駅（2,330円×２）×１人＝4,660円

（様式６）

<別紙　領収書添付欄　１>



領　収　書

Receipt

浜松市政向上委員会　様

領収年月日　2025.-6.18　登録番号：T3180001031569

金　額　¥4,660（消費税等込み）　税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品　JR乗車券類

（21269　4枚）

東海旅客鉄道株式会社

浜松駅ＭＶ１発行　31270-01

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

（様式８）

令和　７年　10月　15日

会派名　浜松市政向上委員会
代表者　　鈴木　恵　　様

会派名　　浜松市政向上委員会
氏　名　　鈴木恵

出　張　届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

１　出張者

鈴木 恵

２　期間及び出張先

令和７年11月８日（土）

法政大学（東京都千代田区）

３　目的

「全国地方議会サミット2025」に参加し、SNSの影響と地方議会、AIで地方議会はどう変わるなどを学び、これからの議会が進むべき方向を参加者と一緒に議論していく。その成果を浜松市議会の活性化に活かしていく。

視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長　様

会 派 名
代表者氏名　　㊞

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。



2025

全国地方議会サミット

参加募集
オンライン配信あり

今年のサミットでは、昨今の議会動向を象徴する
「AI・DX」「主権者教育」「議会改革」のトピックスを
中心にこれから議会が進むべき方向性を議論します。

- ✓ SNSの影響と地方議会
- ✓ AIで地方議会はどう変わる？
- ✓ 子ども・若者との政策づくり
- ✓ 地方議会の政策づくり最前線
- ✓ 議会改革のトレンドと注目議会

おすすめ



LM最終講義



北川正恭
早稲田大学名誉教授

長年にわたり地方分権や議会改革を提唱されてきた北川教授の【LM最終講義】を2日目に行います。

2025.11.8(土)-9(日)

【DAY 1】 START 14:00-18:00
【DAY2】 START 10:00-15:00

会場 法政大学（東京都千代田区富士見2-17-1）

参加費 議員 15,000円 一般 7,500円

登壇者



主催 ローカル・マニフェスト推進連盟
後援 全国都道府県議会議長会 全国町村議会議長会

《お申込みはWEBサイトから》

http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/

お問い合わせ ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 050-8894-0671 lm@local-manifesto.jp

《プログラム》　※変更の可能性がございますことご了承ください

●DAY1／11月8日（土）14:00～18:00
【SNSと地方議会】
「『民意』はどうできていくのか？ SNSの影響と地方議会の方向性」
廣瀬克哉　法政大学法学部政治学科教授
大森翔子　法政大学社会学部メディア社会学科准教授
米重克洋　株式会社JX通信社代表取締役

【AIと地方議会】
「活性化？不要？AIで議会・議員はどう変わる？ 世界と日本の今と未来」
高選圭　福島学院大学地域マネジメント学科教授
河村和徳　拓殖大学政経学部教授

【最新議会改革】
「議会改革のトレンドと注目議会 ～地域経営のための議会改革度調査から～」
山内健輔　早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員

【1日目総括】
※終了後、意見交換会あり（別途会費制：参加費4,000円程度／当日現金払いのみ）

●DAY2／11月9日（日）10:00～15:00
【地方議会の政策づくり】
「実践編① ～子ども・若者との政策づくり～」
田口裕斗　NPO法人DAKKO理事「議員との対話で民主主義の担い手を育てる」
勝山祥　富士見市議会議長「富士高生の主張in富士見市議会」
浜田市議会「主権者教育につながるこどもの意見の施策反映」
（コーディネーター）
林紀行　日本大学法学部教授/早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員

【地方議会の政策づくり】
「実践編② ～議会による政策づくり～」
一関市議会「『政策提言等の実施に関する指針』の策定と実践」
高橋英昭　横須賀市議会 政策検討会議委員長「政策形成サイクルの実践と実例紹介」
外山利章　知名町議会議長「各常任委員会による町民起点の政策提言」
（コーディネーター）
江藤俊昭　大正大学地域創生学部公共政策学科教授

【北川正恭 早稲田大学名誉教授　LM最終講義】
(1)「議会改革と北川正恭。足跡を再検証する」
江藤俊昭　大正大学地域創生学部公共政策学科教授
廣瀬克哉　法政大学法学部政治学科教授
前田隆夫　西日本新聞論説委員
（コーディネーター）
千葉茂明　公益財団法人日本生産性本部上席研究員

(2)「LM最終講義」
北川正恭　早稲田大学名誉教授

(3) 全体総括（閉会挨拶・記念撮影など）

領収書 - 全国地方議会サミット2025

発行日	2025年10月15日	
宛名	浜松市政向上委員会	
合計	小計（10%対象）	¥13,636
	消費税 (10%)	¥1,364
	合計	**¥15,000**
但し	全国地方議会サミット2025参加費	
申込日	2025年10月15日	
注文番号	32643753	
イベント名	全国地方議会サミット2025	
開催日	2025年11月8日 - 2025年11月9日	
主催者	一般社団法人マニフェスト研究会	
	〒186-0004 東京都 国立市中 1-7-41	
	登録番号: T6010005021324	

Peatix

（様式６）

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和７年１１月８日
出張先（目的）	法政大学（東京都千代田区）

出張者氏名	鈴木　恵			

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	１５,８２０円	詳細は下記および別紙添付
日　当	１，５００円	@１，５００円×１人×１日
宿泊費	円	@１４，８００円×１人×　泊
合　計	１７，３２０円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
			¥	１	７	３	２	０

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和７年１１月１９日

会　派　名　　浜松市政向上委員会

代　表　者　　鈴木　恵[redacted]

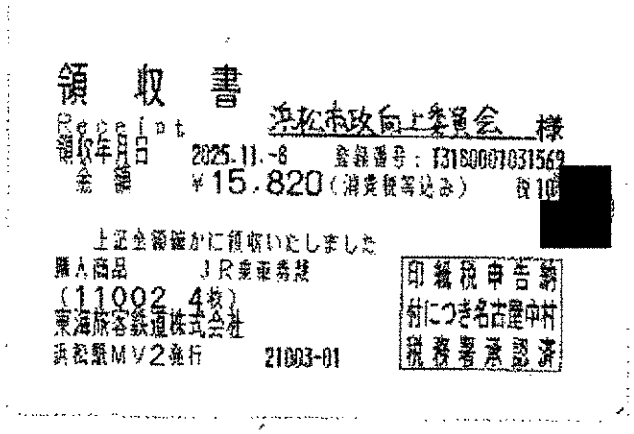
（署名又は記名押印をしてください。）

〈詳細〉

ＪＲ新幹線　浜松駅～東京駅（７，９１０円×２）×１人＝１５，８２０円

（様式６）

<別紙　領収書添付欄　１>



領　収　書

Receipt

浜松市政向上委員会　様

領収年月日　2025.11.-8　登録番号：T3180001031569

金　額　¥15,820（消費税等込み）　控[redacted]

上記金額確かに領収いたしました

購入商品　ＪＲ乗車券類

（11002　4枚）

東海旅客鉄道株式会社

浜松駅ＭＶ２発行　21003-01

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済